



2024-2025 年度 R. I. 第 2820 地区

第 27 回

インターアクト年次大会報告書

テーマ「今、世界とつながろう」

2024 年 8 月 12 日 (月)

於：水戸女子高等学校

ホストクラブ

水戸女子高等学校インターアクトクラブ

スポンサークラブ

水戸西ロータリークラブ

主 催

国際ロータリー第 2820 地区インターアクト委員会



第27回インターアクト年次大会によせて

国際ロータリー第2820地区

ガバナー 大高 司郎

国際ロータリー第2820地区インターアクト大会が、『今、世界とつながろう』をテーマに水戸女子高等学校インターアクトクラブがホスト校になり、開催されますことを心からお祝い申し上げます。

インターアクトクラブの歴史は、1962年に遡ります。アメリカのフロリダ州メルボルンにあるノース・イースト高校で、最初のインターアクトクラブが設立されました。このクラブは、ロータリークラブの理念を若者たちにも広げ、彼らがボランティア精神とリーダーシップを育む場を提供するために誕生しました。以来、インターアクトは世界中に広がり、多くの若者が参加する国際的な運動となっています。第2820地区内には6のクラブがあり160人を超える会員が活動しています。

今年度のテーマ「今、世界とつながろう」は、インターアクトクラブの創設以来続く精神を象徴しています。皆さんは地域や世界のコミュニティで積極的に活動し、その努力と情熱によって他者に貢献し続けています。インターアクトクラブのメンバーとして、皆さんが互いに学び合い、理解を深め合うことで、世界はますますつながりを感じることができるのです。インターアクトクラブは、若者がリーダーシップを発揮し、ボランティア精神を育むための重要な場です。皆さんが取り組むプロジェクトや活動は、地域社会や国際社会に大きな影響を与えています。これまでの成果に対して心からの称賛を送り、これからも皆さんが成長し続けることを期待しています。

今日ここで、皆さんと出会い、交流できることをとても嬉しく思います。互いに学び合い、友情を深め、インスピレーションを受け取る場となることを願っています。

皆さんの未来がさらに輝かしいものとなるよう、引き続き支援し、見守っていきたいと思います。どうぞ引き続きインターアクトの一員として、地域や世界に向けて素晴らしい影響を与え続けてください。

本日は本当にありがとうございます。

歓迎の言葉

水戸西ロータリークラブ

会長 伊藤 公一

第 27 回インターアクト年次大会に参加いただきありがとうございます。大会ホスト校である水戸女子校インターアクトクラブをサポートする水戸西ロータリークラブを代表して心より歓迎いたします。

インターアクトクラブは地域社会での奉仕活動と国際理解を身につける他では得られない体験ができます。本年度の『今、世界とつながろう』のテーマのもと、参加者皆で考え学んでいきたいと思えます。

また午後の部の茨城アジア教育基金を支える会は、長年当クラブがサポートしてきた奉仕活動であり、報告を楽しみにしています。本日一日が皆様にとって有益な大会になることを祈念し、歓迎の挨拶といたします。

ご挨拶

水戸女子高等学校理事長・校長

鈴木 康之

第27回インターアクト年次大会が、多くの皆様と共に開催できますことをホスト校としてお喜び申し上げ、学校長として心から歓迎いたします。

本校インターアクトクラブは平成4年に創部し、各種ボランティアや国際理解に努めてまいりました。その活動は「社会に貢献する女性の育成」という本校の建学精神に沿った活動であり、私は高く評価しています。昭和6年に創立した本校は今年で93年目となりました。その間、世界では数々の出来事がありました。

「今、世界とつながろう」という今年のテーマは、世界では様々な課題が残る状況下だからこそ、大変意義深いあるものであると思います。

今大会が皆様にとって、心に残る一日になることを願って挨拶いたします。

インターアクト年次大会に寄せて

国際ロータリー第 2820 地区
青少年奉仕総括委員長
高田 稔美

このたび「国際ロータリー第 2820 地区第 27 回インターアクト年次大会」が水戸女子高等学校をホスト校として開催されますこと心からお慶び申し上げます。

日頃よりインターアクトクラブ関係者の皆様には青少年育成のための奉仕活動をはじめ、青少年奉仕研究会、RYLA セミナーをはじめとする地区青少年奉仕委員会の活動に積極的に参画いただきまして深く感謝申し上げます。またインターアクトの顧問の先生方には日頃から ZOOM 会議などを通して貴重なご意見を頂き、ロータリーにおける青少年奉仕活動に支援体制をいただいておりますこと重ねて御礼申し上げます。

インターアクトは 12 歳から高等学校卒業までの青少年のための常設プログラムで、地域社会を支援するプロジェクト、および国際理解を推進するプロジェクトを通じてリーダーシップのスキル向上をめざすところです。

第 2820 地区では顧問の先生方の丁寧なご指導と提唱クラブの支援によりインターアクトクラブの活動が活発に行われてきました。現在 6 校のインターアクトクラブ、合計 168 名のインターアクターが昨今の社会情勢においても工夫して活動されていることは、私たちロータリアンにとってもたいへん誇らしく、刺激をいただいております。

今年度、大高司郎ガバナーのスローガン「BE THE INSPIRATION 元気な一歩、共に成長するクラブの力」を受けてインターアクトクラブの皆様には、時代の変化を受け止めて、世界と地域社会に貢献する未来の担い手として更なる活躍を願っております。

「今、世界とつながろう」のテーマで開催されますインターアクト年次大会が、その第一歩となり多くの奉仕の仲間が繋がる機会となりますようご期待申し上げ、開催にあたりご尽力賜りましたスポンサークラブの水戸西ロータリークラブの皆様とインターアクトに心を寄せてくださるロータリアンに心から感謝申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

第27回インターアクト年次大会を迎えて

国際ロータリー第2820地区
インターアクト委員長
太田秀夫

本日、第27回インターアクト年次大会を開催させていただきますことを、主催者の一人として心より御礼申し上げます。今年度ホスト校の水戸女子高等学校、鈴木校長先生、顧問の鈴木先生、矢部先生、佐々木会長ほかインターアクターの皆様、そしてスポンサークラブの水戸西ロータリークラブ、伊藤会長をはじめとする関係各位の皆様の絶大なるご尽力に深く感謝いたします。

国際ロータリー監修のインターアクトハンドブックによれば、インターアクトとは「International Action」すなわち「国際的な活動」を意味します。そしてインターアクトクラブには、学校や地域社会を支援するプロジェクト1件と、国際理解を促進するプロジェクト1件を含む、毎年2件以上のプロジェクトを実施することが求められます。これを受けて今年度、当地区インターアクト委員会では、年次大会の開催、RYLA セミナーへの積極的参加、そしてコロナ渦で中断していた台湾への海外研修を再開する予定です。

その中で最大の行事がこの年次大会であり。その主役は2820地区内6校のインターアクターの皆様です。開催テーマは「今、世界とつながろう」、基調講演では茨城県ユニセフ協会の小澤八千代先生から「世界で生きる子どもたち」と題してご講演いただきます。次に、昨年に引き続き青少年交換制度によりアメリカでの海外留学を経験した、茨城キリスト教学園高校の渡邊さんの体験談をご紹介します。近い将来、インターアクターの皆さんの中から海外留学に挑戦する方が一人でも多く生まれることを期待しています。また、午後の活動では、茨城アジア教育基金を支える会のご支援の下で「世界に絵本を届ける活動」のボランティア実践を行います。

さて、今回もまた、たくさんのインターアクターが集い、ともに学びつつ交流を深めることと思います。互いに刺激しあい尊敬しあえる関係を構築し、これからの素晴らしい活動につなげていける大会となることを期待しております。

結びに、本日ご参加の関係各位の皆様にインターアクトへの更なるご理解とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

ホスト校挨拶

水戸女子高等学校インターアクトクラブ会長

本日は水戸女子高等学校にお越しいただき、ありがとうございます。

「今、世界とつながろう」というテーマで年次大会が開催できましたことを大変うれしく思っております。

午前中は茨城県ユニセフ協会の小澤八千代先生からご講演をいただき、世界の子どもたちの現状を同じ時代に生きるひとりとして、しっかり理解したいと思います。また、私にできることがあれば、積極的に取り組みたいと考えております。午後のワークショップでは、「世界に絵本を届ける活動」に参加し、日本語の絵本に現地の言語を貼り、送る活動を実践します。自分が貼った1冊の絵本が現地の子どもの手に届けられ、読まれることに思いをはせながら作りたいと思います。

日ごろはそれぞれの学校でインターアクトの活動に取り組んでいるみなさんとうちがっしょに過ごす時間を大切にして、充実した1日にしたいと思います。行き届かないこともあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

Interact

RID2820



年次大会

今、世界とつながろう

インターアクト(Interact)

ロータリークラブが主催する若者向けの奉仕クラブの一種です。学校や地域コミュニティに設置され、主に中高生(12歳から18歳)を対象にしており、リーダーシップや奉仕活動に重点を置いたプログラムです。



目的

社会貢献

青少年に社会のために役立つ機会を提供し、奉仕の精神を育む。

リーダーシップ養成

青年期におけるリーダーシップスキルの発展を支援。

国際理解と平和

異文化や国際的な問題に対する理解を深め、平和に貢献する意識を高める。

主な特徴

地域奉仕活動

地元でのボランティア活動や社会貢献に参加し、地域の問題解決に協力します。環境保護、福祉活動などが多いです。

国際奉仕活動

世界的な奉仕活動にも関与し、異文化理解や国際協力を促進します。国際的なチャリティイベントやプロジェクトも行われます。

リーダーシップ開発

メンバーは、プロジェクトの企画や運営を通じてリーダーシップやチームワークを学びます。

ロータリーとの連携

インターアクトクラブは、スポンサーとなるロータリークラブのサポートを受け、ロータリアンと協力しながら活動を進めます。ロータリーの理念である「超我の奉仕」(Service Above Self) を学び実践する場でもあります。

活動を通じて、参加者はコミュニティに対する責任感や奉仕の意義を学び、将来的にロータリークラブへの参加や社会的なリーダーとしての成長が期待されています。





年次大会参加者一同



大高司郎ガバナーの挨拶を聴くインターアクトたち



太田秀夫インターアクト委員長の挨拶と地区役員



小澤八千代先生の講演



受講するインターアクターたち



グループワークで世界の子供たちへの絵本づくり 1



グループワークで世界の子供たちへの絵本づくり 2

第27回インターアクト年次大会報告

インターアクト委員長 太田秀夫

8月12日(月)に第27回インターアクト年次大会が水戸女子高等学校にて開催されました。参加者数は登録ベースで6校のインターアクターが50名、顧問の先生、ロータリアンを含めて合計137名となり盛大に行われました。会場の事情からインターアクターの参加者を各校10名程度としたことから、より多くのインターアクター向けに、当日はZoomで会場の模様を中継して在宅でも視聴できるようにしました。更に後日、録画データを関係各位にお届けしました。ご支援いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

年次大会の開催内容は次の通りであり、インターアクターが国際理解を深められるように配慮された企画だったと思います。

- ・大会テーマ： 「今、世界とつながろう」
- ・基調講演： 演題「世界で生きる子どもたち」 講師 茨城県ユニセフ協会 小澤八千代先生
- ・ロータリー青少年交換留学について(体験談) 青少年交換委員長 軽部守彦
青少年交換留学生 渡邊友仁
- ・ボランティア実践： 「世界に絵本を届ける活動」 茨城アジア教育基金を支える会

年次大会の主役はインターアクターですが、ボランティア実践では大高ガバナーをはじめとするロータリアン有志も参加して、日本の絵本をアジアの子供たちに届けるために現地語の解説文を貼りつけて準備しました。

年次大会を終えて、ホスト校から次の感想文を寄せていただきました。主催者の一人として非常に嬉しく思います。

年次大会を終えて

水戸女子高等学校インターアクトクラブ会長

2024年8月12日に水戸女子高等学校にて第2820地区インターアクトクラブ年次大会を開催しました。「今、世界と繋がろう」というテーマを掲げ、6校のインターアクターが集まりました。

午前中の講演では、茨城県ユニセフ協会の小沢八千代先生の講演を拝聴し、世界の子どもたちの現状を知ることができました。今なお紛争地域で生活することを余儀なくされている子どもたちもいます。わたしたちに何ができるかを今後、考えて実行できればと思います。午後のボランティアでは、日本語の絵本にラオス語、ミャンマー語、カンボジア語の翻訳シールを貼り、それぞれの現地の子どもたちに届ける活動を全員で行いました。細かなシールもあり、丁寧に間違わないように作業を進めていきました。とても楽しかったです。最後に自分の名前をそれぞれの言語と日本語で書きました。子どもたちの手に届き、読まれることを考えると感慨深いものがありました。

準備も含めて貴重な時間を過ごすことができました。今後の活動に活かしていこうと思います。最後になりましたが、サポートしてくださったロータリアンの皆様に深く感謝申し上げます。